

「葛藤と希望」

ピリピ 3:12-14

2018.04.22 HKJCF

1

ピリピ 3:12-14

3:12 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして、追求しているのです。そして、それを得るようにとキリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。

3:13 兄弟たちよ。私は、自分はすでに捕らえたなどと考えるはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、

3:14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。

2

概観

クリスチャンとして信仰を全うできるように、日々の葛藤に捕らわれずに、希望を持ってイキイキした信仰生活を歩めるように、パウロの生涯を通してヒントを得たい。

アウトライン

1. 信仰の入口: 不完全さを認めること V12
2. 信仰の道程: 歩みつづけること V13
3. 信仰の目標: キリストを知ること V14

3

1. 信仰の入口: 不完全さを認めること V12

1) 現状の把握: 律法主義者の誤解; 完成 = (τελειόω, *teleiōō*): 目標、使命 (τέλος, *telos*) に到達する、不完全→完全; 「すでに…まだ」。

2) 意識の変革: 毛虫→蝶; 動物園→自然; 奴隷→子供; 罪人→神の子。

3) IDの確認: 土の器; 原動力は自分がない; 自分は光ではない (II コリント 4:7)。

4) 陶器師の存在: 自分の理想・シナリオ→神様の御計画・デザイン (エレミヤ 18:1-6)。

4

2. 信仰の道程: 歩みつづけること V13

1) 両極端の考え方: 「もう到達した」または「やめろ」= 停滞の原因; わさび農園⇔死海。原罪の残物を認識する。

2) 励むこと: ①忘れる ②進む。人生の後ろのものと前のもの。

3) クリスチャンの自由: 良い選択・決断ができるために (I コリント 6:12)。

4) Doing→Being: 謝罪→認罪。ありのままに御前に出る; 静まること。霊的にしっかりとイエス様につながる (ヨハネ 15:5)。

5

3. 信仰の目標: キリストを知ること V14

1) 上からの召し: 自分より大きいものを持つ: 神様、御国、ビジョン。

2) 目標: キリストの復活の力と、苦しみと死を知る (ピリピ 3:10-11); Blessing>Blessing。

3) 神の栄冠: 復活された体。それを獲得するまで、葛藤しながら、イエス様を見上げ、走りつづける (ヘブル 12:1-2)。

適用: 陶器師のデザインに反抗せず、自分の姿を受け入れ、役割を果たせるように。

6